

推薦整備局等	中国地方整備局
推薦事務所	三次河川国道事務所
工期	平成 31年 3月 1日～ 令和 2年 3月 31日
施工場所	広島県庄原市高野町下門田地内
請負代金額	504,692千円
業者名	株式会社加藤組

【工事概要】

道路土工：掘削工V=18,200m³
 法面整形工A=2,490m²、残土処理工N=1式
 地盤改良工：安定処理工（厚さ0.40m）A=1,389m²
 （厚さ0.65m）A=351m²
 舗装工：アスファルト舗装工A=2,260m²
 排水構造物工：側溝工L=391m、排水工L=136m
 集水柵・マンホール工N=16箇所、地下排水工L=178m
 道路付属施設工：境界工N=20本、道路付属物工N=1式
 法面工：植生工A=2,730m²、法枠工A=290m²
 アンカー工（1号受圧板）N=164枚
 （2号受圧板）N=20枚
 抑止杭工：場所打杭工（杭径318.5mm）N=10本
 （杭径500mm）N=20本
 計測準備工N=2本
 地下水排除工：集排水ボーリング工
 （集水ボーリング）L=305m、（排水ボーリング）L=37m
 構造物撤去工：道路付属物撤去工N=37本
 構造物取壊し工N=1式
 仮設工N=1式

UAVレーザーによる起工測量



ICT活用による地盤改良工



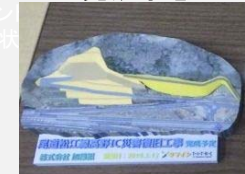
地元説明会



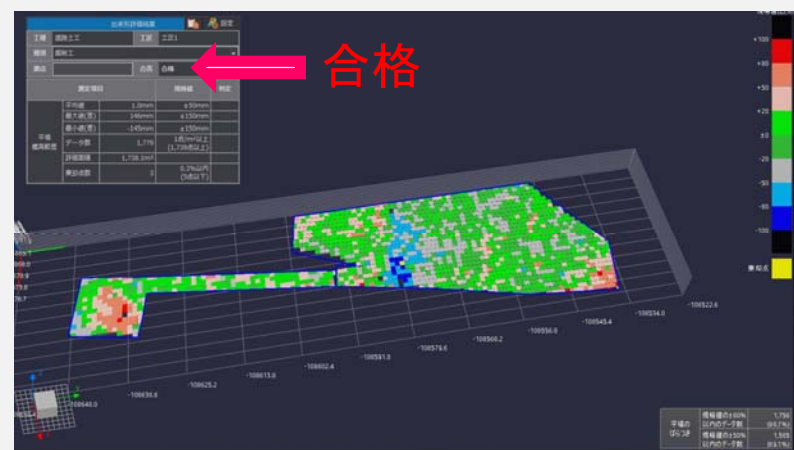
3Dプリンタ模型
現地地形



3Dプリンタ模型
完成予想



施工履歴を用いた出来形管理



- 当該工事は、地滑り箇所が点在し立ち入りが不可能な被災現場であり、立木が多いということから、従来のTSを用いる測量やUAV写真測量は、不可能な状態であった。そのため、透過能力の優れるUAVレーザーを用いた起工測量を行った。
- 道路土工に加え、令和元年度から工種拡大された地盤改良工についても積極的にICT工事として取り組んだ。
- また、施工履歴を用いたヒートマップによる出来形管理を活用し、不可視部分における面的な出来形管理を行うとともに、可視化することにより改良材の添加量および混合対象土量を正確に把握することにより精度の高い施工が可能となった。